

NPO  
Akaiyane

特定非営利活動法人 あかい屋根

NPOあかい屋根広報紙

発行: 特定非営利活動法人  
あかい屋根 ひまわり編集部  
044-976-0444

ひまわり

第 426 号

2012/ 2 / 1

特集

カードゲーム

流行っているけれどこれでいいの?

子どもたちに忍び寄る「魔の手」



### ■でき心

2011 年暮れ、菅生・蔵敷こども文化センターで、「カードゲーム」の盗難事件が発生。それも 1 枚、2 枚でなくごっそりと無くなり、被害者の要請で警察に届け出た。

こども文化センター職員が、犯人を手繰り寄せてみると小学生 4 人が浮かび上がり、尋ねたところ「自分たちがやった」とのこと。保護者と協力して厳しいお灸が据えられた。

### ■犯罪は「悪」だが・・・

犯罪はもちろん悪い！ だが、「カードゲーム」の「しくみ」そのものに問題が内在しているように思えてならない。

### ■カードゲームとは

今、小学生から高校生まで、こども文化センターでは「カードゲーム」は流行している。ナップザックに入れて 200～300 枚のカードを背負ってくる。

このカードで遊ぶためには 1050 円出して「デッキ」と言われる 43 枚のカードを購入し、その後それを強化していくために自分のデッキを構築する必要がある。そのためには、何が入っているかわからないカードを 5 枚 150 円で購入する。

何が入っているかわからないため、同じカードが 2 重にも 3 重にもなる。要するに不要なカードを購入させられる仕組みだ。子どもたちは必要なカードが出るまで買い続け、不要なカードを捨て

る事になる。コンビニでも販売されていて、子どもたちは不要なカードをその場で捨てる。

### ■問題性

「買ったものをその場で捨てる」ことの問題に加え、カードに価値がつく問題もある。そう簡単に強いカードは入っていないので、希少価値が生まれている。

カードは「ショップ」と呼ばれ、買い取り・販売・交換ができるお店ができています。1 枚のカードに 2000 円近い値がついている場合もある。つまり、コツコツ買っていてたまらないカードには付加価値がつく。

### ■再びでき心

罪を犯す仕組みが、カード自体の中に潜んでいないだろうか？ 子どもは遊びとは言え「勝ちたい」。そのためには強い「デッキ」を構築しなくてはならない。だが、コツコツ買い集めても出てくるのは不要なカードばかり。何とか手に入れていがショップで販売している物にはお小遣いの範囲を超えている。そこで・・・でき心が・・・

### ■達観

中には達観している中学生もいる。「カードゲームは所詮金持ちの遊び。僕らのデッキでは勝つことは無理だから」・・・。様々な遊びが存在して良いのだが、子どもを食べ物にして、犯罪を引き起こす要因がある遊びはいかがなものか？ この中学生のように仕組みを早く気付いてもらいたい。

蔵敷こども文化センターの取り組み

子育て支援センターすがおで

# きしゃぽっぽ

1月26日(木)、第一回の子育て支援センターとの交流の場として“汽車ぽっぽ”を行いました。この試みは、近隣の関係施設と連携して、より利用者の利便性を追求しようというものです。今後、毎月1回、子育て支援センターのご協力を得て、蔵敷こども文化センターの職員が「こぶんらんど」を開催します。

最初はなんだかびっくりしていた子どもたちも、お友達に乗っているのにつられて並んでくる子どもいました。おかあさんが手をふってくれて子どもたちは、「いってきまーす」と一生懸命に手を振っていたのしんでいました。

なかには、お母さんはわが子に汽車ぽっぽに乗ってもらいたいと思っても、ママと離れられなくて乗ることができない子もいました。

たった少しの時間だけれどママと離れたら、「どっかに連れて行かれるんじゃないかしら」って心配したのでしょうか。

おかあさんがたにも好評でよろこんでいただき、写メをとっている光景が印象的でした。

「この汽車ぽっぽはこ文にいったら、また乗れるんですか」との質問もありました。2月いっぱいはこちらこども文化センターに設置し乗れるようにしておきます。



出発 進行!!



## Let's go バスツアー 鋸山ハイキング&おはなつみ

2月12日(日) 8:00~17:30

参加費 大人: 2800円

4歳~小学生: 2200円

3歳以下: 1000円

定員 45名(先着順)

受付 1月26日~2月9日



## 人生の最終章を安心して生きるために 講義録出来上がる!

23年9月8日から11月24日まで、菅生こども文化センターを会場に開催された「人生の最終章を安心して生きるために」の講義録が実行委員会の手で作成された。

これは、140名の受講者を数え、大きな反響を呼んだが、まだまだこのことを知りたいという潜在的ニーズに応えようというもの。全6回の講義内容をそのまま掲載している。

ご入り用の方は、菅生こども文化センターに電話で予約を。☎976-0444

A4 64頁

頒布価 300円

23年度 宮前市民館菅生分館市民自主学級  
＜報告書＞

### 人生の最終章を 安心して生きるために

知っておくこと 準備しておくこと



主催: 「人生の最終章を安心して生きるために」実行委員会  
共催: 川崎市教育委員会(宮前市民館菅生分館)  
NPO法人あいの里館(菅生こども文化センター)  
菅生台自治会・神原町地自治会



**菅生こども文化センター** ☎976-0444

1・22・24日 15:00~16:30  
**ターザンロープの日** 誰でも・無料

7・14・21・28日(火)16:00~17:30  
**卓球クラブ**  
クラブ員 100円/月

8・15(水) 15:00~16:30  
**おやつづくりクラブ(とん汁)**  
3~6年 定員20名 150円  
15日のみあと5名申し込み受け付けられます。

10・17日(金) 15:00~16:30  
**やさしいおやつ作り(みそかんぱら)**  
1・2年 定員になり×切 100円

12日(日) 8:00~17:30  
バスツアー(鋸山ハイキング&おはなつみ)  
誰でも 定員45名 大人2800円 子ども2200円 3歳以下1000円

25日(土) 10:00~15:00  
**ONEぱーく(お弁当作り&大運動会)**  
2~6年 定員になり×切

28日(火) 10:30~11:30  
**がががらんど(ひなまつり)**  
無料 幼児とその母親 当日ご参加ください

29日(水)15:00~16:30  
ドッチボール大会  
小学生 無料

毎週月・木曜日 15:00~16:30  
**居菓子屋「ぶん」** 10円~(但し1日100円迄)

**蔵敷こども文化センター** ☎977-2577

3日(金) 15:00~15:30  
**豆まき** 小学生 無料

4日(土) 13:30~15:30  
**おやつ作り(ブラウニー)**  
小学生20名 150円 ×切2日迄

8日(水) 14:30~16:30  
**バレンタインチョコ作り(女の子のみ)**  
小学生20名 200円 ×切6日迄

15日(水) 15:30~16:30  
**こども会議** 小学生 無料

16日(木) 10:00~12:00  
**フラワーアレンジメント**  
一般10名 1300円 ×切14日

21日(火) 10:30~11:30  
**蔵敷こぶんらんど(おさかなつり)**  
子育て支援センターで実施 幼児 無料

22日(水) 14:30~15:30  
**パソコンであそぼう(スケジュール帳づくり)**  
小学1~3年 8名 無料

29日(水) 15:00~16:00  
**こどもギネス** 小学生 無料

第2・4火曜日 10:00~12:00  
**ぞうさん文庫** 絵本の読み聞かせ・貸し出し

毎週月曜日 9:30~21:00  
**卓球の日** 誰でも 無料

毎週金曜日 15:30~17:00  
**だがし亭きらびい** 10円~(但し1日100円迄)

**募集!!** **菅生こども文化センター**  
**幼児クラブ**

毎週金曜日 10:30~13:00頃まで  
季節の遊び・Cookingなど・・・  
ママも子も楽しく遊んでいます。  
4月から一緒に活動しませんか?

**見学大歓迎です。**

お問合せ：活動時間中に直接来ていただくか菅生こども文化センターにお電話を ☎976-0444

図書室から Book

# Guide

No.153

## わたしのかわいいゆんどり

アリス・プロベンソン  
マーチン・プロベンソン さく  
まじだ えりこ やく

ほるぶ出版  
1200円+税

一九七三(五八)に出版された絵本です。

農場の平常は暮らしの中で繰り返される生命の誕生と、それを見守る者たちのやさしさがあふれています。

たまごを産んだゆんどりと飼い主の娘エミリーが、かえったたまごから出てきたひよこに「ネディ」という名前をつけました。ネコのマックスは本当はネディを食べちゃいたいと思っっているのでしょうか・・・一年が過ぎるとネディはおとなのゆんどりになっていました。

写真のアルバムのような絵と、穏やかな文章がやさしい時間を運んで来てくれる・・・そんな一冊です



# どうしたらいいの? 48 はじける笑顔 料理で満開

—シリーズ 老いを考える—

頭にはバンダナ、胸にはエプロン姿の男たち、雑煮の鍋の匂が部屋いっぱい。焼きアナゴでだしをとって、大根、ニンジン、ごぼうに白菜、凍み豆腐などたっぷり野菜が煮えていた。

正月9日の昼時、菅生台自治会館での「男の料理教室」にお招きいただいた。平均年齢80歳という男たち10名が手際よくテキパキと動いている。お好み焼き、紅白なます、千切りにした白菜の上にベーコンとエノキを炒めた具がたっぷりのサラダが次々にテーブルに並び。校長と呼ばれる人、教諭と呼ばれる人、総代と呼ばれる人もいて、一人ひとりが主人公だうことが良く伝わってくる。何と言ってもみんなの笑顔がステキ!

2年前、自治会のウオーキングの会から出発、月一回のこの教室、ひとりの落後者もないというから驚きである。入会の希望者がいても場所的にこの人数が限界とか。当時は「あれは旦那達の飲み会だから長くは続かない」と囁かれたそうだが、「全員皆勤賞ですよ」と満面笑顔の会長さん。

教諭と呼ばれている方に「昔から料理をやっていたの?」と聞いてみた。「勤めが週休二日になった時、女房から「今日は食事を作りませんよ」と言われてね、それからですよ」。(宣言した女房も偉い)

だとしても数えてみると20年位は食事作りをやっていることになるから大ベテランというわけだ。道理で、私などは捨てて当たり前と今の今まで思っていたエノキの根の部分の部分を塩コショウして片栗粉をし、焼いてステーキに変身。まるでホタテを食べているようだった。更に雑煮に使った芹の根を雑煮の鍋の隅に入れたのだ。芹の香りが更にふわ〜と広がる。「料理教室」ではなくて「料理研究者の会」といったところか。

たどたどしかったという包丁さばきもすっかりリズムミカル。「今では料理は日常生活の一部」「料理せずして何の人生か!」と胸を張る男たちには圧倒されっぱなしの私でした。乾杯はビール、私にはふか〜い味のワイン、福島のお酒もたっぷり。「酒あつての料理」から「料理あつての酒」。意味の深い言葉が心に残った。

顔はツヤツヤ、動作はテキパキ、お喋りはつつつ、背筋はピン、どこにも老人っぽさがない。

洗い物から後片付けまでばっちり。「これが夫婦円満のコツさ」ですって・・・。

「男子厨房に入らず」の時代を生きてきた人々の勇氣あるチャレンジに乾杯!どの料理も味最高でした。

十文字美恵 (老人保健施設青葉の丘勤務)